



真岡市議会議員

お世話になります！

# 中村かずひこ通信



【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.37  
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail [tonpei@i-berry.ne.jp](mailto:tonpei@i-berry.ne.jp)

5月6日に発生した竜巻により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

## 一般質問が実現しました！

### その1 『インキュベーション・マネージャー』を商工会議所に配置

起業家に対して経営指導や各種の相談業務を専門的に担当する『インキュベーション・マネージャー』の資格を、真岡商工会議所の職員がこの度取得しました。

真岡市が独自のマネージャーを配置したことにより、起業家へのきめ細やかな指導が可能になるのはもちろんのこと、これから起業をしようとする人々に対する支援の充実も期待されます。

### その2 心身障がい児通園ホーム『ひまわり園』が旧コンピュータ・カレッジに移転

心身障がい児通園ホーム『ひまわり園』は、これまで中村小学校長田分校だった建物を利用して運営されてきましたが、老朽化が著しく改善を図る必要性が高まっていました。

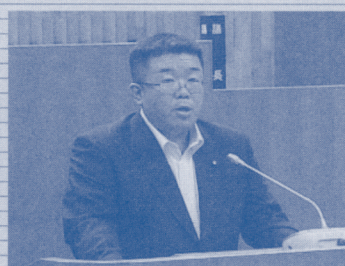
今年度から旧真岡コンピュータ・カレッジに移転。バリアフリー化や個別相談室の設置をはじめとして各種設備の充実が図られ、障がい児を安心して療育できる施設として新たに生まれ変わりました。

※実現に向けてご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

市民と市政のかけ橋になりたい！  
☆お気軽にお声をかけて下さい。  
お友達との井戸端会議、勉強会等。2〜3人でも結構です。どこへもお伺いいたします。  
☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！  
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひ、意見を！

「見逃した！」という方に  
バックナンバーをお送りします  
これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜36号までを見逃された方は、お気軽にご相談下さい。  
こちらからお送りさせていただきます。

## 1年3ヶ月ぶりの論戦！ 6月定例議会・一般質問



6月定例議会の質疑・一般質問が11日(月)、12日(火)の2日間にわたって行われました。

中村は12日の2人目として登壇。今後の防災対策など計3件の課題について一般質問を行い、執行部との論戦を展開しました。

執行部は答弁の中で、『地域通貨』の導入を検討していくことや、『天然ガス施設を活用した発電所』について誘致を図っていく考えであることを明らかにしました。

### 中村が行った一般質問の内容

1. 防災対策について
  - (1) 災害時における市の情報伝達手段について
  - (2) 民間企業・他自治体との協力体制について
  - (3) 放射能測定器の貸し出しについて
2. 地域経済の活性化について
  - (1) 中心市街地の空洞化対策について
  - (2) 起業家支援について
  - (3) 地域内の電力確保について
  - (4) 地域通貨について
3. 教育行政について
  - (1) 各学校への専任司書の配置について
  - (2) ライフスキル教育について
  - (3) 学校支援ボランティアの活用について

## 皆様のご参加ありがとうございました！ 第7回 市政報告会を開催

5月25日(金)午後7時から、大谷公民館において『第7回 中村かずひこ市政報告会』を開催しました。当日は夕方から強い雨が降ってしまい、皆様にご参加いただけないのが心配でしたが、20名の方にお越しいただくことができました。

報告会では、昨年の市議選で訴えていたことを振り返りながら、この1年間でどのような活動してきたのか報告をした後、参加者の皆様との意見交換を行いました。

### 一口メモ

参加者との意見交換では、特に震災や竜巻の発生後における行政の対応について、厳しいご意見が相次ぎました。

現在、真岡市では『地域防災計画』の見直しを進めている最中です。当日寄せられた皆様からのご意見を反映できるよう議会内において発信していきたいと考えております。



次回発行予定日  
10月28日(日)  
発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。





質問:中村かずひこ

# 中村かずひこ議会レポート

## 6月定例議会 一般質問

答弁者: 井田 隆一 市長  
酒井 勲 教育長

### 1.防災対策 について



**質問** 昨年3月11日に発生した東日本大震災を振り返ると、**行政から市民への情報伝達が決定的に不足**していたという印象を強く抱く。  
兵庫県伊丹市では、阪神大震災の発生直後から広報紙の号外を発行し、市民への情報提供を行ったとのことである。紙媒体、つまり**ビラや壁新聞の類の活用**は、真岡市も真剣に検討すべき課題と考えるが。

**答弁** 現在、真岡市では**防災無線のデジタル化**を進めているところであり、**今年度は67基**を新たに設置する予定である。  
しかし、大規模な災害を想定した場合、**チラシや広報紙号外**の作成や、避難所における**壁新聞**など、災害の状況に応じた情報伝達のあり方について**十分検討**していかなければならないと考えている。

**質問** 東日本大震災では、**行政からの情報が各自治会に届かず**、混乱をきたしたという反省材料もあった。各自治会へ連絡を伝えるとともに、困りごとなどの相談をどのように受けていけば、見逃してはならない課題と言える。  
**平常時から市職員の中で地域連絡員を指名**しておき、災害時にはそれぞれの担当自治会へ赴くような体制を構築することはできないものか。

**答弁** 今年2月に消防団において「**地震対策対応マニュアル**」を策定するなど、消防団と自治会が一体となった連絡体制の強化を進めているところである。  
災害時、市職員を配置することについては、災害の規模などに応じて対応をしていかなければならないので、**あらかじめ担当職員を決めることは難しいもの**と考えている。

**質問** 真岡市では昨年10月から、携帯電話を使い災害情報を配信する「**緊急速報エリアメール**」を導入した。しかし、**5月6日に竜巻**が発生した際、**情報発信に使われることはなかった**。  
市としては、エリアメールを**どのような場合に活用**する考えなのか。

**答弁** 「緊急速報エリアメール」で**送信可能な情報**は、避難情報、警戒情報、指定河川洪水情報、国民保護に関わる情報など、**各携帯電話会社との契約**で定められている。  
なお、**気象情報**については、**県の防災メールを活用**していただくよう市民にPRをしていきたい。

**質問** 現在、真岡市内には数多くの**スーパーマーケット**があり、それらは市内の住宅密集地において適度に分散している。  
多くの人間が集まっても受け入れられる**広い駐車場**も保有し、加えて**食糧、飲料水**をはじめ衣類やアウトドアグッズなども置かれている。  
市内にあるスーパーマーケットなどと**避難所の協定**を結べないものか。

**答弁** スーパーマーケットを避難所として使うにあたっては、施設内外の**安全性の確保、商品の管理責任**、避難所としての使用期間の**企業活動阻害補償**など、様々な問題があるため、**協定を締結する考えはない**。  
なお、現在はイオンなど4社と災害時の物資供給に関する協定を結んでおり、食糧、飲料水、生活必需品の購入などに関して協力を求めている。

**質問** 東日本大震災の発生直後、断水により**給水車**が置かれたが、**市民が長蛇の列**をつくり、5時間も並ばなくてはならない状況に陥った。  
自然災害は局所的なものも多い。現在、真岡市は埼玉県桶川市及び新潟県阿賀野市と防災協定を結んでいるが、**より迅速な対応**をするためには、**県内他市町との防災協定を見直す必要性**があると思うが。

**答弁** 東日本大震災の発生直後、これまで協力体制を構築してきた新潟県阿賀野市、埼玉県桶川市、上三川町、市貝町から支援の申し出があったところであり、**真岡市としてはいつでも応援要請ができるもの**と考えている。なお、この度の竜巻発生時には、行政や市民の協力によって対応できると判断し、応援要請は行わなかった。  
**今後、災害が発生した場合は、被害状況などによって応援要請**をしていきたい。

**質問** 原発事故発生から1年3ヶ月が経過したが、**放射能測定器の貸し出し**を求める市民の声は根強いものがある。これに対して市は、**市内の135ヶ所**で定期的に測定を行っていること。さらに、結果だけがひとり歩きする懸念もあるという理由から、市民への**測定器の貸し出しは行わない**とのことであった。  
しかし、県内14市の中で市民に貸し出しを行っているのは**真岡市だけ**であり、市民の不安を取り除くためにも、測定器の貸し出しを行うべきではないか。

**答弁** 真岡市では東日本大震災後、**放射能測定器を18台購入**し、学校や保育所、子育て支援センター、留守家庭児童会館、公園、運動場、公民館分館のほか市内全域を2kmメッシュで区切った46ヶ所を含め、合計135ヶ所で定期的な測定を行っている。その数値は測定以来、**毎時0.06~0.16μSv**の範囲で**健康に影響はない**と考えている。  
このように、市内全域を細かく測定しているため、**放射能測定器を市民に貸し出すことは現時点で考えていない**。

### 2.地域経済の活性化 について



**質問** **真岡市の中心部**はここ20年来、**シャッター通り**となってしまった感があり、活気のない状況が続いている。加えて、**福田屋百貨店の撤退**により、どういった業種の店舗が新たにつくられるのか、戦々恐々としている様子を見ると、戦略立てた対策が必要と考える。  
行政においても、**工業団地の企業誘致でのノウハウ**を生かした**専門部署を設置**し、中心市街地の空洞化に対して攻めの姿勢で取り組むことはできないものか。

**答弁** **昨年度**、真岡地区と二宮地区の商店街を対象に「**空き店舗実態調査**」を実施した。これによると両地区で**合計66軒**の空き店舗があった。  
しかし、貸し出す意思のない店舗も多く、それ以上の**行政の関与は難しい**状況にある。**商工会議所や商工会、NPO法人**などで**支援体制を整備**していきたいと考えている。

**質問** 今年2月、商工会議所の職員1名が、**起業家の経営指導**を専門的に担当する「**インキュベーション・マネージャー**」の資格を取得した。今後、**人材活用をどのように**図っていく考えなのか。  
また、起業家に対する掘り起こしや融資枠の拡大、さらに活動場所の提供といった**市独自の支援策**を行っていく考えは。

**答弁** 「**インキュベーション・マネージャー**」の役割については、起業をしようとする人への**教育、経営相談、ビジネスプラン作成**や会社設立の**支援**などがあり、積極的に担っていただきたいと考えている。  
市独自の起業家支援策については、融資面として**真岡市商工振興資金に創業資金**の制度がある。現時点での利用は少ないので、**この制度の活用を推進**していきたい。また、活動の場としては「**MOP21**」がある。昨年の**震災で被災**したが、**修繕を完了**したところであり、当面は現有施設を活用したいと考えている。

**質問** **地域内の電力確保**について伺いたい。  
①栃木県が今年から、農業用水などを活用して行う「**小水力発電**」の普及に向けた取り組みを本格始動させるとのことである。すでに宇都宮市など3市町で指定を受け、来年度末までの運転開始を目指しているようだが、**真岡市としては今後どのように取り組んでいく予定**なのか。  
②現在、東京ガス株式会社では、北関東エリアにおける天然ガスの安定供給を図るため、茨城県の日立港から真岡市までパイプラインで結び計画を進めている。**天然ガスを活用した発電所**を整備するため、東京ガスやPPS各社などと**協議を進めることはできないもの**か。

**答弁** ①農業用水を活用した発電には、年間を通じて安定した水量と2m程度の落差を有する水路が必要である。しかし、**真岡市内の農業用水に条件を満たす水路がない**。したがって、調査・研究をする考えはない。  
②東京ガスは自ら発電所を設置する予定はないとのことであるが、**特定規模電気事業者(PPS)**に対して働きかけを行い、**天然ガスの供給量**などを考慮しながら、第5工業団地へ**誘致**をしていきたいと考えている。

**質問** **地域通貨**は、無償のボランティアでは依頼しにくいサービスが受けやすくなるだけでなく、活動をする側にも目に見える対価をやりとりすることで活動を続ける励みになることが、メリットとして挙げられる。  
また、**千葉市や新潟県三条市**の地域通貨は、買い物にも使えるようになっており、**商店街の活性化**にもつなげている。真岡市としても**導入に向けて検討を進めてはどうか**か。

**答弁** 各地において商店街や、NPOなどが中心となり、**地域通貨が制度化**され、**地域活性化に成功している例**も見られる。  
現在、真岡市も有償ボランティアを含めたボランティアのあり方について調査を進めているところであり、地域通貨の**導入についてあわせて検討**していきたい。



### 3. 教育行政 について



**質問** 現在、真岡市内にある大半の小中学校では**司書教諭**が配置されている。しかし、**クラス担任と兼務**しており、学校図書館の管理運営や子ども達の読書指導に**専念できていない**のが実情である。宇都宮市、上三川町、芳賀町などで専任司書を独自に配置しており、子ども達の読書量が飛躍的に伸びている。**真岡市としても専任司書を配置してはどうか。**

**回答** 司書教諭は教科の指導などを兼務しており、**司書本来の職務を充実させるためには、専任の司書を配置することが望まれる。**しかし、教員配置の責務は**栃木県教育委員会**にある。今後も引き続き都市教育長協議会などを通じて**要望**をしていきたい。

**質問** 『**ライフスキル教育プログラム**』は、思春期の子ども達がディスカッションなどを通じて、日常生活の様々な問題について、自分達で解決していくためのトレーニングである。真岡市では、**昨年度からは市内各校において導入**している。現在行われている内容についてどのように評価しているか。また、**今後さらに普及を図るための計画**はどのようになっているか。

**回答** これまでの成果として、生徒は『**自分の考えを積極的に発表**できるようになった』などがあり、教師は『**生徒との距離が近くなり、より良い人間関係ができた**』などが挙げられる。**課題としては、ライフスキル教育を行う時間の確保**が挙げられる。各学校とも工夫をしながら30回ほど活動を行っているようであるが、教育委員会としても支援をしていきたい。

**質問** **教育委員会**では『**学校支援ボランティア**』を広く市民から募集している。しかし、**各学校でもボランティアの人材募集**は行っており、効率的ではない。また、教育委員会に登録している市民は14名にとどまっている状況だ。学校は、ボランティアに参加する市民に対する個別の声かけと登録の窓口の役割を担い、それに対して教育委員会は、各学校に対する情報提供と人材派遣のコーディネートなどに重きを置き、**明確な役割分担をしたらどうか。**

**回答** 教育委員会で人材募集をしている目的は、学区の垣根を越えて教育活動に協力していただける市民を募ることにある。現在の登録者数は少ないが、**小中学校にボランティアとして登録している市民(合計で延べ3600人)に対して周知**を図り、学区以外の学校でも活躍していただけるボランティアの増加に努めていきたい。

### 再質問



#### 災害時における情報伝達手段について

**質問** **防災無線**を基本とするとのことであるが、**全ての情報を伝えるのは困難**ではないだろうか。大まかな情報は無線で良いと思うが、**詳細な情報は紙媒体**で伝えるという役割分担が必要と考えるが。

**回答** 東日本大震災の時、防災無線が**聞き取りづらかった、細かい情報が流せなかった**という反省点がある。そういう意味からすると**紙媒体も必要**と考える。これまでに活用を図った他市の状況を参考としながら研究していきたい。

#### 要望

震災の時、**防災無線が聞き取りづらい**→市民が**災害対策本部に問い合わせ**をする→**電話回線がパンク**する→市民が**災害対策本部へ直接詰めかける**、という経験をしたことを考えれば、この課題は復旧作業にあたる職員のためでもある。ぜひ、**地域防災計画の改定時には、どのような媒体を用いて市民に情報提供を行うのか明記**していただきたい。

#### 災害時における他自治体への応援要請について

**質問** 震災の時は、明らかに県東部と県西部で被害の状況が違っていた。なぜ、応援要請をしなかったのか疑問が残る。竜巻の時には、**他自治体からの応援は必要ない**と判断したとの回答だったが、**どのようなプロセスを経てそうした判断**を行うのか。

**回答** 東日本大震災の時、**県内他自治体の被害状況や給水車の保有台数などを把握できなかった**。把握できていれば応援要請をしていた。そうした意味からすれば、市民の皆様には大変な不便をおかけしたと思う。今後、**県内他自治体との話し合いの中で、様々な提案**をしていきたい。

#### 要望

『**他自治体の状況が分からなかった**』ということは、震災発生後に**県も混乱**をしていたことを物語るものであり、**貴重な証言**である。ぜひ今後、市長会その他の会合でご提言いただきたい。

#### 放射能測定器の貸し出しについて

**質問** 貸し出しは行わないとのことだが、なぜそこまで頑なのかの理解に苦しむ。**今、市民が求めているのは『安心』**である。『安心』は『安全』であることが、情報・確信として伝わっていなければ成り立たない。奇しくも、市長は『**日本一安心なまちづくり**』を掲げてきた。本来ならば、**真っ先に貸し出してもよかった**のではないか。

**回答** 原発事故発生後の雲や雨の状況を見ると、**放射能の流れ具合**は真岡市にとっては**それほど影響が出るものではなかった**。現在、135ヶ所の測定を行っているが、市民が**不安を感じる数値ではない**。

**質問** 全国で**ホットスポット**は、日を追うごとに**増えている**状況である。加えて、今まで**真岡市が行ってきた測定方法**も妥当なのか、**冷静に疑問を持つべき**と考える。市内の公園でも測定されている所とされていない所があり、完璧なものとは言い難い。それを**補完する意味でも、市民に貸し出すべきではないのか。**

**回答** 2kmメッシュの中で公共施設を測定しているため、複数の公共施設があればその中の1つに限定している状況である。**ホットスポットについては、水の流れ込むような場所を探せばあるかも知れないが、体には影響はないだろう**と考えている。

**質問** 『**探せばあるかも知れない**』というのは**極めて重い発言**だ。市民の利用頻度が高い場所で見つかった場合はどうするのか。あるかも知れないし、ないかも知れない。それが**分からないから市民は不安**なのだ。貸し出せない理由を挙げていただきたい。

**回答** まず懸念されるのは、**ホットスポットが発見された時、誰が除去するのか**という問題である。これは個人負担とせざるを得ない。また、どこかの家の庭で発見された場合、その噂が広まってしまうと、**地域コミュニティが崩れるのではないかと不安材料**もある。今の空間放射線量からすれば心配はない。

#### 要望

これ以上回答を求めても平行線をたどるだけなので要望にとどめるが、**ホットスポットの除去**については、**各自治体**を見ると**マニュアルを提示**して住民に呼びかけているようだ。東日本大震災以降、日本国民は災害情報について冷静に取捨選択できるようになったと感じる。**怖いのは『多分、市民は混乱するだろう』と行政が勝手に判断をして情報を止めてしまうことではないだろうか。**

#### 学校図書館への専任司書の配置について

**質問** 教育というのは、復興に向けた取り組みの最たるものだと考えている。仮に**真岡市が、市内全小中学校に専任司書を配置**し、**宇都宮市と同等の人員費**を払ったとしても、**年間約5500万円**でできる。真岡駅へのSL移転の1/3程度の費用でできてしまうが。

**回答** **教育委員会と他市の状況を調査**しながら話し合っていきたい。





# 私の政治活動費

この1年間（平成23年5月1日～平成24年4月30日）にかかった私の政治活動費について皆様にご報告いたします。

項目	金額	備考
印刷・広告費	1,098,342円	『中村かずひこ通信』発行費(年4回)
ホームページ更新料	155,000円	
書籍・資料購入費	76,525円	D-fileなど
研修参加費	86,900円	清溪セミナーなど
交通費	35,220円	個人視察時の交通費
食料費	0円	
コピー代	1,410円	
通信費	17,960円	郵送料
文具費	4,727円	封筒、ノート、ファイルなど
家屋費	360,000円	事務所家賃
光熱水費	54,100円	水道料、電気料
その他	1,415円	

合計 **1,891,599円**



皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

※詳細に知っていただくため、個人視察時の交通費なども掲載いたしました。

※なお、過去の政治活動費については「中村かずひこ通信」の1、5、9、12、17、21、25、29、33の各号をご参照下さい。

## コラム ゼーむあっぴ

5月25日(金)に私にとって7回目となる市政報告会を開催させていただいた。参加者と意見交換をした中で『なぜ、真岡市は放射能測定器の貸し出しを行わないのか』という話題が挙がった。その際、参加していた全員に尋ねてみると『貸し出されたい』とのことであった。

福島原発事故から1年4ヶ月が経過した。しかし、放射能問題に関する市民の不安は風化することなく、今も根強いことを改めて思い知らされた。

測定器の市民への貸し出しについてこれまで執行部は、市内全域を2キロメートルメッシュで区切った46ヶ所を含め、合計135ヶ所で定期的に空間放射線量率の測定を行っており、問題ない値を示していること。さらに、放射能測定器の市民への貸し出しは、結果だけがひとり歩きしてしまう懸念もあるという理由から行わないとしてきた。

ちなみに、県内14市の中で市民に貸し出しを行っていないのは、実質真岡市のみである(宇都宮市と鹿沼市は測定器の貸し出しではなく、市の職員が市民の要望に応じて直接出向いて測定をしている)。

確かに、放射能測定は真岡市でも行ってはいる。しかし、その測定場

所の一つ一つを改めて見てみると、十分に市内全域をカバーしているとは言い難い。『自分の自宅周辺は大丈夫なのか?』『子ども達が毎日歩く通学路や、児童公園などは問題ないのか?』そうした市民の不安を大袈裟と一笑に付してしまっているのだろうか。

私達は日常、あまり区別をせずに『安全』と『安心』という言葉を使っている。しかし、この2つの言葉が意味するものは大きく異なる。危険でない状態はそれ即ち『安全』だと言えるかも知れない。その一方で『安心』はその状態が広く周知されていなければ成立しない。

今、市民が求めているのは結果論としての『安全』ではなく、情報・確信としての『安心』なのだ。奇しくも、現在真岡市が標榜しているまちづくりのテーマは『日本一安心なまち』である。そうであれば、こうした取り組みは他市に先んじてでも、積極的に行うべきではなかったか。

市民に十分に情報が行き渡らず、そのことが逆に不安を煽る結果を招いているのは、昨年の震災や今年の竜巻の発生後、市民の皆様から寄せられた様々な指摘を振り返っても、それが色濃く反映されているのが分かる。放射能測定器の貸し出し問題は、その象徴と感ずずにはいられない。

## 中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は  
中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕  
真岡信用組合本店  
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会  
代表 中村和彦



## 中村かずひこ活動目録

4月	5月	6月
1日 伊夜日子会奉仕作業 真岡青年会議所愛するふるさと村事業(於:茂木町) 真岡青年会議所創造美育推進委員会	1日 『ひばりの会』定例会	1日 質疑・一般質問調整会議 市役所担当課と接見 真岡青年会議所創造美育推進委員会
4日 真岡新聞音訳作業(『ひばりの会』の活動として)	2日 真岡新聞音訳作業(『ひばりの会』の活動として)	4日 あいさつボランティア
6日 行屋川桜まつり点灯式	7日 あいさつボランティア	5日 6月定例議会開会
7日 大谷地区福寿会総会 大谷地区『わかば会』総会	8日 会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会	『ひばりの会』勉強会
9日 交通安全指導(高間木の交差点) 真岡中学校入学式 児玉税経主催講演会(於:宇都宮市)	9日 西田井小学校視察 竜巻災害復旧ボランティア	8日 真岡青年会議所創造美育推進委員会
10日 真岡西小学校入学式	10日 日本自治創造学会(於:東京都千代田区)	10日 真岡西中学校スポーツフェスティバル
11日 芳賀郡市「副議長会」	11日 会派間協議 とちぎローカルネットワーク「野嵐会」役員会(於:宇都宮市)	『ひばりの会』30周年記念式典 真岡青年会議所例会(於:益子町)
13日 市議会だより編集委員会	12日 コットンウェイ硬式野球倶楽部応援(於:足利市)	11日 質疑・一般質問1日目 議員協議会
14日 真岡自然観察会会計監査	大谷広報編集委員会	12日 質疑一般質問2日目(この日、2人目に登壇)
15日 伊夜日子会奉仕作業 観光まちづくりアイデア発表会	真岡市子ども会育成会連絡協議会総会	13日 真岡青年会議所会員交流事業
16日 あいさつボランティア 関東若手市議会議員の会研修会(於:千葉県松戸市)	さわやかデイホーム悠々総会 東千鶴子氏講演会	14日 文教常任委員会
17日 『ひばりの会』総会 関東若手市議会議員の会役員会・研修会(東京都千代田区)	セルフみらい110周年記念コンサート(於:芳賀町)	15日 芳賀広域行政事務組合議長会送別会
18日 真岡地区戦没者慰霊祭 真岡青年会議所会員交流事業	14日 あいさつボランティア 真岡商工会議所青年部総会	18日 あいさつボランティア
19~20日 栃木県市議会議長会(於:那須烏山市)	15日 議員協議会 臨時議会	19日 議員協議会 6月定例議会閉会
21日 真岡自然観察会総会 真岡青年会議所例会 大谷広報編集委員会	16日 真岡青年会議所例会	『ひばりの会』勉強会
大谷地区婦人防犯防火クラブ総会	18~20日 全国若手政治家サミット(於:神戸市)	21日 叙勲祝賀会 サクシードカフェ(於:宇都宮市)
23日 あいさつボランティア 市職員OB友の会総会	22日 七井松が丘楽荘慰問(『ひばりの会』の活動として)	23日 台若総会
24日 部課長歓迎会	24日 竜巻災害復旧ボランティア	24日 コラボまつり
25日 真岡市地域公民館連絡協議会総会	25日 やまさわの里役員会	25日 あいさつボランティア
27日 1~3期議員有志勉強会	27日 市政報告会 明治大学校友会栃木県支部総会(於:宇都宮市)	27日 もおか市民討議会2012実行委員会
	28日 あいさつボランティア 議員協議会	28日 とちぎローカルネットワーク「野嵐会」役員会(於:宇都宮市)
	31日 一般質問の通告書を提出	29日 日本青年会議所栃木ブロック協議会(於:宇都宮市)
		真岡青年会議所創造美育推進委員会 真岡青年会議所例会